

消防大学校だより

新任消防長・学校長科における教育訓練

消防大学校では、消防吏員として消防業務に従事した経験のない新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「新任消防長・学校長科」を設置しています。令和6年度の「新任消防長・学校長科（第34期）」では、5月14日（火）～5月24日（金）の11日間に及ぶ全寮制での集合研修を受け、32名が無事卒業しました。

研修では、原消防庁長官による講話を始め、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、各人が抱える課題等についての討議、及び消防人として必須である消防訓練礼式等を受講し、消防組織のトップとしての職責を認識するとともに、消防職の心構えについて積極的に学びました。

また、実科では実火災体験型訓練（ホットトレーニング）の見学や、防火衣及び空気呼吸器の装着体験を行い、消防職員の過酷な環境での現場活動の実態を理解しました。大規模地震時における常備消防と消防団との連携を想定した指揮シミュレーション訓練では、指揮者の状況判断の難しさや、各機関との連携の重要性について理解を深めました。

さらに、危機管理広報では、組織内で不祥事が起きた際の報道対応の実習を行い、危機事案発生時の適切な広報技術の向上を図ることができました。

研修を終えた学生からは、「消防に関する最新の知識を習得することができ、消防学校長として自分のやるべき方向性が見えた。」「人口減少が進む中、地域消防力を維持強化していくためのヒントが見えたように感じた。消防職員を維持していくためにも、ハラスメント対策、女性活躍の推進など参考になった。」「同じ境遇で、同年代ということもあり、話題に事欠かず、学生間でのネットワークができたことで、今後の業務運営の武器が一つ自身に備わったと感じた。」など、教育科目全般及び学生相互の交流を含め、有益であったと評価する意見が多数寄せられました。

今後は、一般行政職員の幹部としての経験や知識に加え、「新任消防長・学校長科」で習得した知識等をいかして、各組織のトップとして住民の安全・安心に貢献し、大いに活躍されることを期待いたします。



訓練礼式



実火災体験型訓練の見学



指揮シミュレーション訓練



消防大学校だより



令和6年度 消防大学校 客員教授について

消防大学校では、客員教授制度により、消防に関し特に優れた知識及び経験を有し消防大学校における教育等に対して顕著な協力をいただける方に対し、客員教授の称号を授与しています。

この度、令和6年度の客員教授名簿を作成しましたので、教育訓練等の講師選定の参考として紹介します。

※ 客員教授の連絡先については、消防大学校担当者までお問い合わせください。

※ 客員教授への講師依頼等の事務については、依頼元（各地域の消防学校等）が直接行い、これに係る費用は、依頼元において御負担ください。

令和6年度 客員教授名簿

(敬称略)

専門分野	氏名	所属・職名
(1) 教育技法	山崎 洋史	仙台白百合女子大学教授
(2) 組織管理	新井 雄治	元東京消防庁消防総監
(3) 防実務法規	秋山 恵	元東京消防庁理事兼総務部長
(4) 予防法令運用	荒井 伸幸	元東京消防庁理事兼総務部長
(5) 地域防災	瀧本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科准教授
(6) 惨事ストレス対策	松井 豊	筑波大学名誉教授
(7) 危機管理	鈴木 洋	元横浜市消防局長
(8) 危機管理	石井 隆一	元消防庁長官

問合せ先

消防大学校教務部
TEL : 0422-46-1712